

アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025



三岸好太郎「北大のポプラ並木」

1932年 油彩／キャンバス 46.0cm×38.2cm 〈北海道立三岸好太郎美術館蔵〉

三岸好太郎にとって、北海道大学の構内は自分の庭のようなものであった。学生時代、近所にある北大に遊びに行っては木蔭で読書をしたり芝生で休息したという。中学卒業後、画家を目指して上京し本格的に画家としての活動を始めた後も、故郷・札幌をこよなく愛した三岸は毎年のように帰省した。この作品はその折りに描かれた。

1928年には、同世代の洋画家で平塚出身の鳥海青児ちうかいせいじ（1902-1972）とともに数ヶ月を札幌で過ごした。この時、三岸は鳥海に北大の楽しみ方を伝授したのだろう。鳥海は当手を回想する。「よく大学裏の草原に寝ころがって、あの異国的なアカシヤの並木をながめて

いると、まず画描きであるより、歌わない詩人になっていた。」鳥海は後に、北海道の風土が三岸のロマンチズムを育んだと指摘するが、その深い理解の背景にはこうした個人的な体験があった。

この後、三岸は独立美術協会の設立に最年少で参画した。熱心な誘いに応じなかった鳥海に、三岸は一方的に絶交を言い渡したという。そのまま、三岸は1934年に夭折、鳥海は1943年になって独立美術協会の会員となるのである。

今年度の特別展「鳥海青児と三岸好太郎」（9/13～10/26）では二人の交流とそれぞれの画業を紹介する。
（北海道立三岸好太郎美術館 柳沢 弥生）

現代日本画の活況

遠き道展

はて無き精進の道程

北海道立帯広美術館 学芸員 蘭 部 容 子

道立帯広美術館では4月11日（金）から6月15日（日）まで、「遠き道展—はて無き精進の道程」を開催します。本展は、活躍のめざましい若手から中堅の日本画家の作品を一堂に集め、現代日本画の状況を俯瞰しようというものです。出品される作品は、日展、院展、創画会といった所属団体や出身校の垣根を越え、さまざまな公募展で受賞した大作を中心に選ばれています。伝統の中に自己の表現を生かそうとする者、また従来のかたちにとらわれず斬新な創作を目指す者など、その試みはさまざまですが、それぞれが真摯に日本画の新しい地平を切り開こうとしているのです。展覧会では、前・後期に分けて日本画家36人による約100点の大作を展示します。また、初めての試みとして視覚にハンディキャップのある方々を対象にした鑑賞ツアーやワークショップなども行います。

ここでは、出品作家・作品を所属団体ごとに紹介していきたいと思います。



西田 俊英
《きさらぎの月》
2005年

岡倉天心、横山大観らにさかのぼる院展に所属・参加している出品作家は、梅原幸雄、北田克巳、小谷津雅美、清水由朗、高橋秀年、仲裕行、西田俊英、福井爽人。西田俊英の《きさらぎの月》は、月が照らす桜の下、首を垂れた馬が佇んでいる場

院展

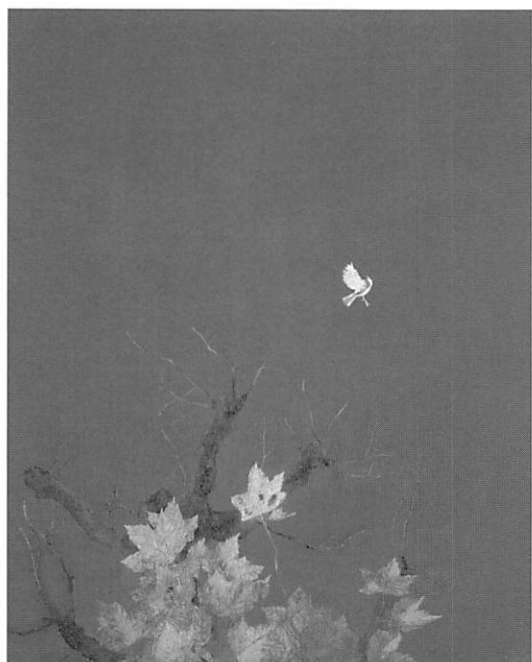
のびやかな画風、
深みを増す

面です。皓々と照る月と、散り落ちる桜、長いまつげを伏せる馬……。淡い色彩によって描かれた画面には、幽玄と叙情が漂います。

日展

確かな実力、さらなる飛躍

戦前の官展（文展、帝展、新文展）の流れを汲む日展に所属する作家は、稲元実、加藤晋、加藤東一、川崎麻児、岸野圭作、坂本藍子、仙崎誠、土屋禮一、中町力、西田真人、山田毅。その中で加藤晋の《空の底》は、鮮やかな青の画面に、金色の鳥と樹が配された作品です。鳥（シジュウカラ）と樹は大きくは描かれておら



加藤 晋
《空の底》
2001年

ず、この作品の主役は画面の大半を占める青い空にあります。作者は空を描くことが多いようですが、よく知られている言葉「井の中の蛙 大海を知らず」の続きに、「されど空の高みを知る」とあるのを知って感銘を受け、この作品を描きました。

創画会

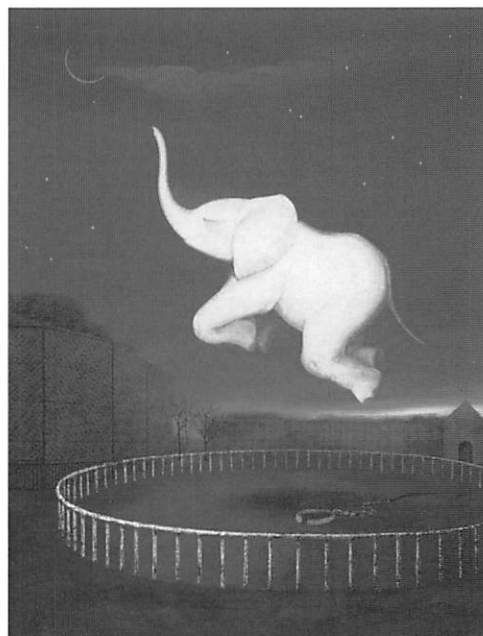
革新の表現、挑戦の気概

閉鎖的な日本画壇を打破せんと戦後に結成された「創造美術」を前身とする創画会からは、浅野均、尾長良範、小嶋悠司、武田州左、伴戸玲伊子、平川敏夫、平山英樹、宮いつきが出品されています。



宮 いつき
《ヴォカリーズ》(部分)
2004~2006年

宮いつきの《ヴォカリーズ》は、おだやかな色彩によるつぎはぎの抽象的な背景に、弓矢を持った女性や少女たち、ほとんどシルエツトで表現された少年や兔が、なかば夢の世界のように配置されています。これは作者が、小さかった娘とその友達を連れて訪れた牧場の情景を描き尽くそうとして描いた大



依田 万実
《夜明け前》
1994年

作です。

無所属

輝く個性、新しい日本画を求めて

現在では、大規模な団体に所属せず個展などを中心に活躍する日本画家も数多くいます。今回の展覧会では、荒井経、岡村桂三郎、新恵美佐子、西野陽一、マコトフジムラ、間島秀徳、松生歩、吉川優、依田万実です。依田万実の《夜明け前》では、遠くに薄く光が差してきた夜空の下、ふわりと、白い象が浮かんでいます。自分を縛り付けていた鎖や柵から解放された象は、夢見るように目を閉じています。童話の中の一場面のような、詩情あふれる作品です。

近代美術館

北海道の水彩画

みつゑを愛した画家たち

四月二六日(土)～六月八日(日)

水彩画は、明治になって西洋画の一つとして本格的に日本で紹介されました。親しみやすさや画材の手軽さもあって広く普及し、明治三〇年代後半から全国的に流行して大下藤次郎、丸山晚霞、三宅克己らが人気を博しました。その頃、北海道の美術はまだ黎明期といえる時期でした。明治末から大正期にかけては、北海道で目にする作品の多くが水彩画でしたが、大正末頃には、油絵がさかんになっていました。

昭和初期、水彩画の革新をめざす中西利雄ら若い画家たちが登場し、札幌では繁野三郎が水彩画家として頭角をあらわしてきます。全国的な水彩画振興の気運や繁野の尽力が刺激となって、次第に北海道の水彩画は活気を帯びていきました。

展覧会では、北海道の歴史と美術の流れの中で、水彩画がどのように展開してきたかを明治から近年までの作品約一〇〇点によって紹介します。水彩画の多様な魅力をお楽しみください。



繁野三郎《ばら》1947年 個人蔵

三岸好太郎美術館

鳥海青児と三岸好太郎

九月三日(土)～一〇月二六日(日)

当館の特別展では毎回、三岸好太郎(一九〇三―一九三四)に関連したテーマを取り上げています。今年度は、三岸と交友関係があり、切磋琢磨した仲間でもある、同世代の洋画家・鳥海青児(一九〇二―一九七二)に着目し、二人の交流や、それぞれの画業をご紹介します。

二人は、初期春陽会への参加を通じて知り合い、若手作家グループ「麗人社」での活動、北海道への旅行など、親しい交流がありました。好太郎はめ

まぐるしく画風を変転させた末に三十一歳で夭折しましたが、一方の鳥海は戦前・戦後の数度の渡欧を経て油彩画による表現の可能性を生涯探求し続けました。渡欧で得た闘牛モチーフや異国風景、あるいは人物像などにより、独自の世界を展開しました。その驚くほど表情豊かな画肌も必見です。鳥海の故郷にある平塚市美術館所蔵の作品と、当館所蔵の三岸作品とからなる展示をどうぞお楽しみください！



鳥海青児
《黄色い人》
1956年平塚市美術館蔵

旭川美術館

「日本のわざと美」展

―重要無形文化財と―

それを支える人々―

九月六日(土)～一〇月五日(日)

旭川美術館では、文化庁ならびに旭川市民実行委員会との共催により、「日本のわざと美」展を開催します。

この展覧会は、伝統工芸部門における歴代の重要無形文化財保持者(いわゆる「人間国宝」)や保持団体の作品と、それらの工芸技術の表現に欠かせない用具や材料の製作・生産等の技術のうち、特に選定された文化財の保存

技術と
合わせ
て紹介
する
もので
す。

陶芸
の富本
憲吉、
木工の
黒田辰
秋、漆

芸の松田権六、金工の高村豊周等々、錚々たる作家の代表的な作品を通じて、伝統のわざと美のまさに「粋」をお楽しみいただける格好の機会となることでしょう。



十四代酒井柿右衛門《濁手枝垂桜文鉢》
1990年 文化庁蔵

函館美術館

トンちゃんアート展

―ハコビでBOO!―

七月二〇日(日)～九月三日(火)

「トンちゃん」ってだれ? そう、もちろんおわかりですよ。それは、豚・ぶた・ブタ、のこと。人類とも古いつきあいです。さてさて、このトンちゃん、よくまわりをみてみれば、そこにかしこにいます。貯金箱だったり、カップになったり、箸置きだったり、ランプであったり、枕になったり、帽子になったり、日用の品々の数々に変幻し、あるいは絵本の中に登場し、文学・映画にも姿を見せ、衣服の模様となり、家具・装飾に存在感を示し、

そしてもちろんアートの中にも。それと食卓にもね。

本展では、そうしたさまざまなイメージであらわされたトンちゃんが、美術館に大集合! 愛らしいトンちゃん、ちょっと俗悪な豚、ゆかいなブタさん、まじめなブタちゃんなどなど、多彩多様なブタの表現とのかくされた魅力を、まるまるとお楽しみください。あなたのことにも、きっとトンちゃんがいることでしょう。



三沢厚彦
《Animal 2005-06》
撮影：内田芳孝
写真提供：西村画廊

帯広美術館

五味太郎作品展

— 絵本の時間 —

六月二〇日(金)～九月三日(水)

五味太郎という名前は知らなくても絵を見れば「ああこの人ね」とおわかりになることでしょう。子どものご家庭なら必ず何冊かは書棚に並んでいるはず。五味太郎(一九四五～)は現代日本を代表する絵本作家の一人。これまで三〇〇冊以上の著作を出版し、サンケイ児童出版文化賞、ポロニー国際絵本原画展など、国内外の絵本賞を数多く受賞しています。この展覧会の企画には作者自身が深



五味太郎
おはなしてよ
岩崎書店
Illustrations(c) Gomi Taro

でなく、作者の強い希望により、発想から制作、印刷という絵本ができるまでのプロセスを映像などを通してわかりやすく紹介し、絵本づくりの楽しさを共有していただける内容となっています。

く関わって
います。
『みんな
うんち』
『ねえ
おはなし
してよ』
といった
おなじみ
の絵本原
画を展示
するだけ

釧路芸術館

長倉洋海写真展

— 微笑みの降る星 —

九月一三日(土)～十一月三日(木)

釧路生まれの写真家、長倉洋海(ながくらひろみ)は、一九八〇年にフリーのカメラマンとなって以来、世界各地の紛争地帯を精力的に取材しています。戦禍の表層よりも、そこに生きる人間そのものを捉えようとするカメラアイは多くの写真集に結実し、土門拳賞をはじめ、日本写真協会年度賞、講談社出版文化賞などを受賞してきました。またテレビ放映された「課外授業・ようこそ先輩」世界に広がれ、笑



《アンゴラのヌンバ》
2007年 作家蔵

も期待
される
ところ
です。

顔の力」がカナダのテレビ祭で最優秀賞を、フランスの国際フォトジャーナリズム祭には日本人初の写真家として招待されるなど、その活動は世界的にも注目されています。本展の出品作は約三四〇点。子供たちの生きる姿に焦点を当てた四部構成で、その中にはNGOの代表として設立を支援した「アフガニスタン・山の学校」も含まれています。さらに、作家自身の講演やレクチャー、ワークショップを通して、市民との交流が盛り上がることも期待されます。

札幌芸術の森美術館

「イタリア美術とナポレオン」展

四月一五日(火)～五月二五日(日)

ナポレオン一世の生地として有名なコルシカ島にあるフェッschuss美術館コレクションを日本初公開。ナポレオンの叔父ジョゼフ・フェッschuss枢機卿(一七六三～一八三九年)が収集したコレクションは膨大で、とりわけイタリア絵画部門は、フランス国内においてルーヴル美術館に次ぐ所蔵数を誇る。今回の目玉として、フィレンツェ・ルネサンスの巨匠サンドロ・ボッティチェッリのテンペラ画《聖母子と天使》が特別出品される



ボッティチェッリ
《聖母子と天使》
1467-70年
Photos: Jean-François Paccosi

のをはじめ、一七～一八世紀イタリア・バロック期の宗教画、肖像画、静物画、風景画、ナポレオン一族の肖像画など六〇点を厳選。ナポレオン関連資料約二〇点とともにその魅力を紹介する。四月一〇日、五月一〇日、一七日、二四日(いずれも土曜一四時～)には、鑑賞のポイントを解説する学芸員トークが行われる。四月二十九日には野外美術館もオープン。行楽気分、春の芸術の森を楽しんでみては。

本郷新記念札幌彫刻美術館

新たな表現への模索

— 省略とデフォルメ — (本館)

遊びの中から生まれた造形

— 本郷新を魅了したテラコッタ — (記念館)

四月五日(土)～八月二四日(日)

一般に知られている本郷の作品は、札幌大通公園の『泉の像』、稚内の『氷雪の門』などの野外彫刻をはじめ彫刻のほとんどが人体を表現しています。若い頃に、ロダンやミケランジェロにあこがれ、表現を学んだ本郷にとって、かたちを捉える基本は、人体の美の追求でした。しかし、本郷はこのような写実に徹した具象彫刻だけではなく、常に新たな表現

を模索しました。素材を変え、かたちを省略してデフォルメすることで表現の幅を広げようとした。本郷が試みた、量感と表現のせめぎあいの軌跡をご紹介します。



本郷新
《少年》1960年

記念館では、素材でぬくもりあるテラコッタの作品をご紹介します。本郷は一九六五年小樽に作った春香山荘で、手慰みとして粘土を捏ねていました。遊びのつもりが、いつしか素朴なテラコッタの質感に魅せられ、作品として発表しました。本郷が、感性を自由にして楽しみながら土に触れて制作したテラコッタの作品を是非ご覧ください。

MUSEUM CALENDAR

2008. 4 ~ 2008. 10

美術館の特別展覧会ご案内

	4	5	6	7	8	9	10
近代美術館	4/2~ 4/13 第76回 記念独立展 北海道展	4/26~6/8 北海道の水彩画展	6/14~ 6/22 北海道 立体表 現展08	6/25~ 7/2 ACT 展	7/12~9/4 没後40年 レオナルド・フジタ展	9/13~11/7 21世紀の大発見 よみがえる黄金文明展	
美三岸 術好 館太 郎節	4/1~6/15 三岸節子の作品世界 (第1期)		6/20~9/7 三岸節子の作品世界 (第2期)		9/13~10/26 鳥海青児と三岸好太郎		
旭川 美術館	4/1~ 4/13 森の 贈りもの 木の造形	4/19~6/1 永遠なる迷宮 エッシャー展	6/7~7/13 ゲオルグ・ハルンスノーベンと アン・グッドマンの世界 リサとガスパール&ベネロ展	7/24~8/24 大三国志展 悠久の大地と 人間のロマン	9/6~10/5 「日本のわざと美」展 重要無形文化財と それを支える人々		
函館 美術館	4/5~5/11 みんなのドラえもん展 -魅力のひみつ-	5/18~7/13 遠き道展 -はて無き精進の道程- 第1部 5/18~6/15 第2部 6/21~7/13	7/20~9/23 トンちゃんアート展 ハコビでBOO!	10/1~ 10/5 全道展 函館地 区記念	10/12~ 11/30 金子卓義展		
帯広 美術館	4/11~6/15 遠き道展 -はて無き精進の道程- 前期 4/11~5/11 後期 5/16~6/15	6/20~9/3 五味太郎作品展 「絵本の時間」	9/12~11/12 もじ・モジ・文字展 -描かれた文字・記号と美術-				
釧路 芸術 館	4/12~6/11 市民が愛したヨーロッパ絵画 バロックから近代へ	6/21~8/31 ウィリアム・モリスとその時代 アーツ&クラフツ展 (イギリス・アメリカ)	9/13~11/13 長倉洋海写真展 微笑みの降る星				
美札 術幌 館森 の森	4/15~5/25 「イタリア美術とナポレオン」展	6/1~7/2 札幌美術展 SAPPORO IS WHITE	7/12~9/15 ジブリの絵職人 男鹿和雄展				
札幌 彫刻 美術館 本郷 新記 念	4/5~8/24 平成20年度前期収蔵品展 ◇新たな表現への模索 -省略とデフォルメ- ◇遊びの中から生まれた造形 -本郷新を魅了したテラコッタ-				8/30~10/13 北の彫刻展2008 -心の中の自由な世界-		

アルテピア会員

優待条件の変更についてのお知らせ

平成20年5月1日から、レストラン「ぼーぎーる」ご利用料金のご優待が1割引に!

- 変更理由：昨今の原油高による仕入れ原材料等の上昇。
- 変更内容：優待料金を2割引から1割引とします。
※個人会員はご本人のみ、法人会員は1組(5人まで)とします。

WELCOME

アルテピア会員募集

世界の art に出会える

アルテピアボランティアさんとのふれあい

「吉村作治のエジプト発掘40年」のポスターを眺めながら、昨年の今頃を思い出しました。
 長期入院をしていた母の病状が思わしくなく、毎日のように病院に通っていたある日、ギャラリーに戻ると、ボランティアの方がいつも持参くださるポスターが届いておりました。その中に手紙があり、母の回復を願う祈りの言葉と介護する私を気遣う言葉も添えられておりました。その方に何時か母の話をしたことがあり、案じて下さっていたお心に目頭が熱くなりました。あの時頂いた心のふれあいは、母の思い出と共に私にとって忘れられない大切な宝物になっています。

ギャラリーユリイカ；鈴木葉子（札幌市）

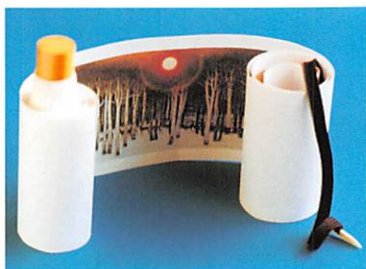
ホームページアドレス <http://www.artepia.or.jp>

道立近代美術館

ミュージアムショップから



一筆箋



新商品！
道産子追憶之巻
ミニレプリカ

好評！岩橋英遠商品シリーズ



クリアファイル



絵はがき

第26回

海外美術研修

美術の都
パリ 8日間



2007.10.21 ~ 10.28



オレンジリー美術館
モネ《水蓮》の部屋

オヴェールの教会
「ゴッホの教会」は
本当に曲がっていた



「セーヌ川」ディナークルーズの始まり

編集だより

- 会報「アルテピア」も号を重ねて52号となりました。表紙を飾る道立美術館所蔵作品には、いつも心をときめかされます。今号は、三岸好太郎美術館の《北大のポプラ並木》です。
- また、3月発行号は、次年度の各美術館の展覧企画が出揃う時にあたり、期待が高まります。キンビの目玉は、「フジタ」・「セザンヌ」、そのほか「これぎゃら」の「追想一片岡珠子の世界」も見逃せません。
- そしていよいよ、アルテピア創立30周年を明年に控え、記念事業に向けスタートします。会員皆様のご協力をお願いいたします。(T)



「エコール・ド・パリ」って？

エコールとは英語でschool（学問、芸術などの流派・学派・画派）、つまり「エコール・ド・パリ」とは、パリ派という意味です。20世紀初頭、パリ・モンパルナスに來住した外国人芸術家を指した名称で代表的な作家には、イタリアのモディリアーニ、ロシアのシャガールそして日本の藤田嗣治らの名があげられます。彼らは特定の流派に属さず、フォービズムやキュビズムにとられない独自の表現方法を追及し、異邦人としての郷愁と哀感をたたえた作品を多く発表しました。現在、近代美術館にはジュル・パスキン（221点）をはじめキスリング、ドラン、ローランサン、シャガール、藤田嗣治などを含めた多くの作品を収蔵しています。